



文學博士川田剛。菊池三溪。石川鴻齋三先生序文  
依田百川先生著

# 譚海

全三冊洋裝  
每編讀切美本  
正價一冊拾錢  
郵稅各四錢

學海依田百川先生嘗て云ふ名君賢相將勇士の事蹟は正史紀傳に載せて其の才練功業を天下後世に傳ふへし唯彼の奇人逸士若くは巧藝技術の士又は俠客妓女にして貞操節義ある者則ち關許の無頼者等其事世の教訓を爲すに足らずと雖も一節一事の採るべき者あり懲戒を爲すべき者あり此等の類は正史紀傳に載すへき限に非ざるを以て其事蹟瀆滅して後世に傳らざる者多し是に於て先生此編を著し忠臣孝子にさらり俳歌者流世雜其角の徒神史者流馬季京傳種彦一九の輩又は妓にして奇行ある瀬川小柳首信の類主僕にして替を報したる金井仙太郎或は劇盜にして名を轟したる國定忠次奇傳を以て世に聞へたる蛇喰騎其他駭くへき喜ふべき奇人偉士等數十人を採り得意の妙文を以て其傳を作られたれば其文章の奇麗妙絶なる恰も數千駒の演劇を一編の中に觀る如し且つ門人杉山三郊及び先生の姪孫貞續二君が評を下し文法を論し照應起伏の存する所を指し又其佳境主眼を示す等精微至らざる所なし故に獨り奇事偉蹟を讀りて傳聞の姿を爲すへき而已ならず文章を作らんを欲する者此評語を熟讀玩味せば必ず大に發明する所あるへし實に古今比類なき珍書なり請ふ大方諸君子一たび購讀ありて此書の許り無きを誠り玉ふ可し

松井廣吉北村三郎君何著

# 日本百傑傳

全部十二卷洋裝美本紙數登冊大判百二十頁  
正價登冊拾二錢十二冊一圓廿五錢郵稅登冊四錢

- 第一編目次 ●武内宿禰 ●中臣鎌足 ●柿本人丸 ●山部赤人 ●行基 ●和氣清原 ●坂上田村麿 ●僧空海 ●紀夏井 ●菅原道真 ●三善清行
- 第二編目次 ●紀實之 ●大江匡房 ●平將門 ●源賴朝 ●源義家 ●源義經 ●源賴朝 ●大江廣元 ●源義經 ●源賴朝 ●武藏坊辨慶 ●四行 ●北條泰時 ●僧親 ●僧日蓮 ●北條時宗 ●岡崎正宗 ●楠正成 ●楠正行 ●北畠親房 ●足利初氏
- 第三編目次 ●細川頼之 ●太田道灌 ●北條早雲 ●狩野元信 ●豊前 ●後藤祐乘 ●毛利元就 ●武田信玄 ●上杉謙信 ●織田信長 ●豊臣秀吉 ●加藤清正 ●原田孫七郎 ●松浦宗案
- 第四編目次 ●石田三成 ●直江兼續 ●伊達政宗 ●黒田孝高 ●山田長政 ●藤原惺窩

英國大博士スマイルス氏原著  
日本文學士萩原朝之介君譯述

# 俊傑少年

全一冊大判 正價金拾一錢 郵稅四錢  
目次 總論 ●世界大衆の少年なる事實 ●教育の必要 ●早成の大器 ●文學者 ●理學 ●政治家 ●及法律家 ●軍人 ●古代の傑傑 ●近世の名將 ●結論 ●少年の特性

英國大博士スマイルス氏原著  
日本文學士萩原朝之介君譯述

# 俊傑老年

全一冊大判 正價金拾二錢 郵稅四錢  
目次 總論 ●大器晩成 ●俊兒 ●愚童 ●遊戯 ●勉勵 ●少年の將來 ●元氣及想像力の發作 ●戀愛 ●兵役 ●早成 ●老成 ●美術家 ●詩人 ●能力の消長 ●教法 ●理學 ●軍人 ●著述家 ●理學者 ●政治家 ●及法律家 ●結論

村井弦齋君著 水野年方密書

一九二

# 紀文大盡

全一冊和裝  
正價拾二錢  
郵便稅四錢

著者獨特の彩筆を揮ひ紀文大盡の性行を描くや道徳涵養の神を以てし而して始終文學的好趣味を失はず幼時孝養悌悌より熊野の途上嚴厲尾尾して燃るが如きの英志を陳るが如き筆々神に入り暗然涙あり遂に百千の艱難を凌ぎ百里の洪濤九死の巷路能く字内第一の豪傑となるを叙す眞に壯快奮勵一讀起らん少少年諸君一度本書を讀み紀文大盡偉業大志を見よ

太華山人著 富岡永洗密書

# 河村瑞賢

全一冊和裝  
正價拾二錢  
郵便稅四錢

滿眼皆是黄金世界餘の果瓜朽壤の草鞋冲天の紙幣滿地の鉄火宇宙の萬物探て功名富貴の原野を開く瑞賢は實に商業界の海王なり遊地を馳ぎ河流を通し奥羽の海運を開き大坂の水香を治す瑞賢は眞に經濟世界の天冠を戴けり陸すれば固是愚鈍の車力而して此に至れる所以のものかの精神の高潮思海の變遷を叙するに太華君の壯麗開助の筆を以てす曲寫其勝を寫し正描其心を指す嗚呼是れ少年の啓蒙談なり商人の立志談なり文學の好材料なり

日本商業雜誌主筆坪谷善四君郎著

# 内外豪商列傳

全一冊洋裝  
正價百五拾二錢  
郵便稅二錢

壯快の筆を以て壯快の傳を叙し讀者をして頑夫も廉に懦夫も志を立てしむ是れ本書の目的なり方今世上治平無事亦兵馬革命の變に乗じて身を立てて名を成すこと能はざるも幸に商業市場の治勢を利用し波瀾高低の危險を履まば空拳徒手より起りて其商業地盤内に住するること難しとせば其材には如何せば可なるは是れ本書の明かに指示せる所なり

原抱一庵主人著 藤島華僑密書

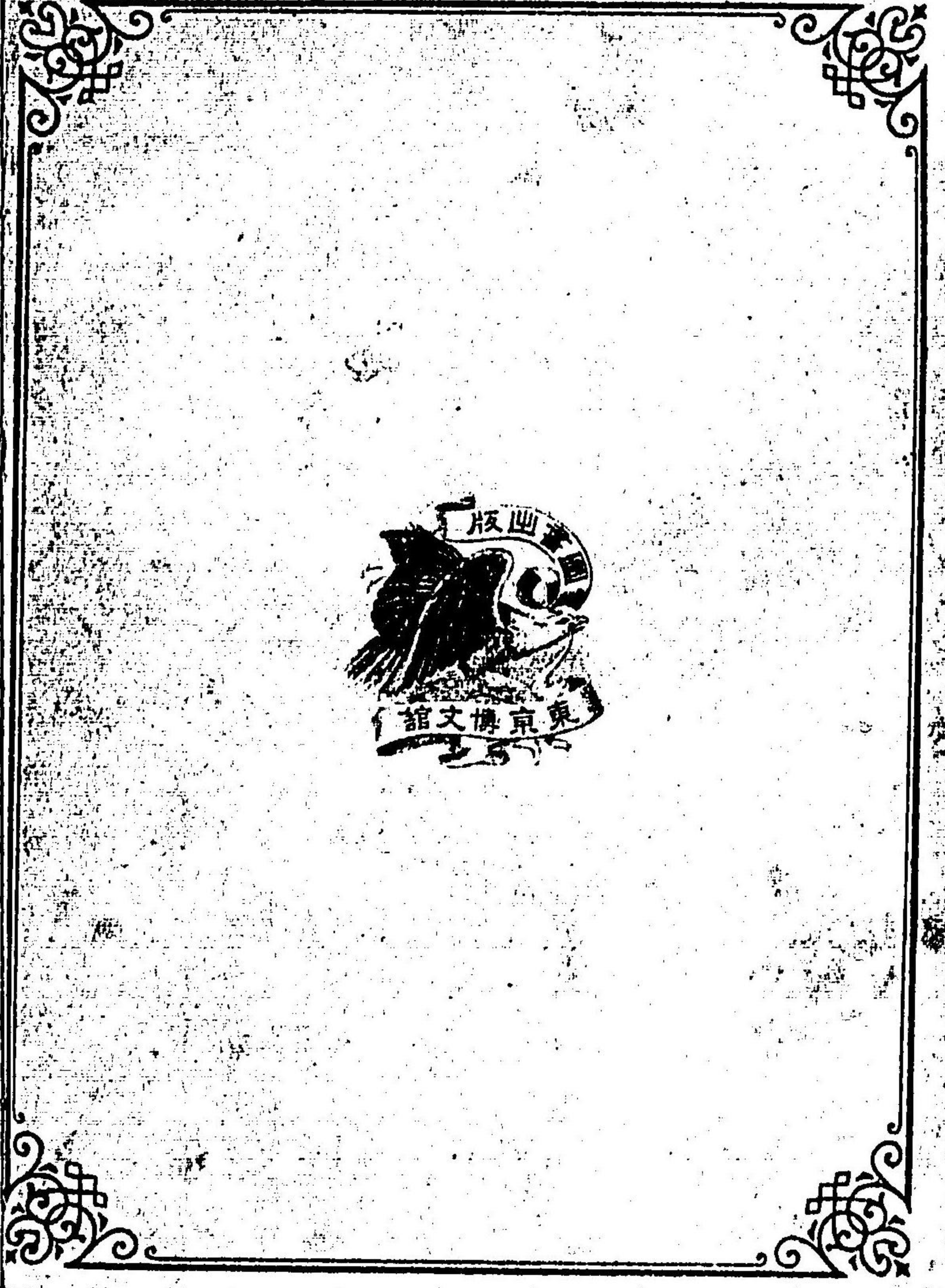
# 大石良雄

全一冊和裝  
正價拾二錢  
郵便稅四錢

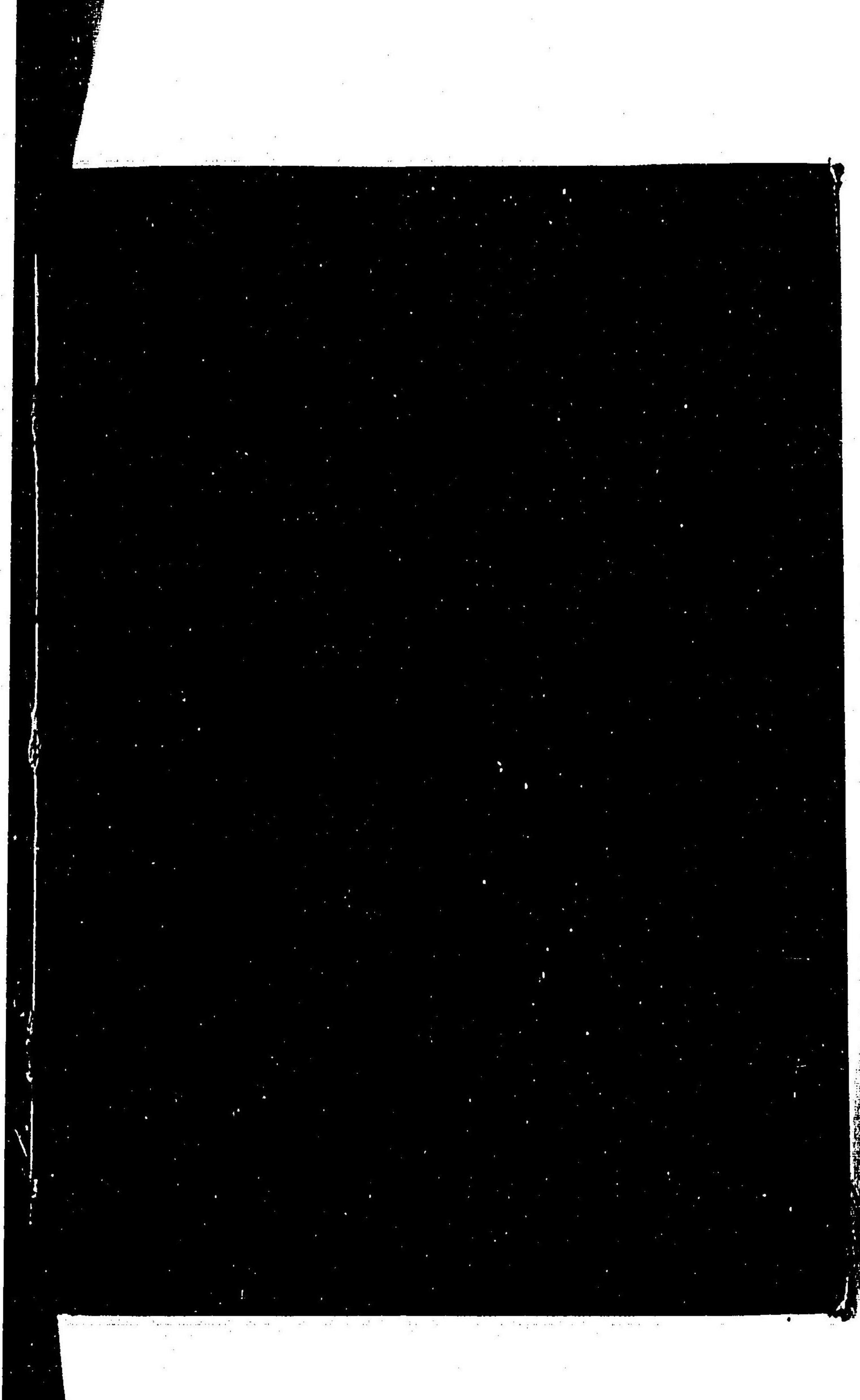
正體澄目滿を引て容易に發たざるの忍耐、是を稱して蓄積力といふ、英雄巨人の大事業大偉功、持蓄積力の原動力、大石良雄亦此線穿を彈擲したるの士なり、蓄積力といふ、英雄巨人の大事業大偉功、此好漢を讀み來る、小奇徹激の主君の生命を死より救ひたる一人の英雄、透徹の彩筆、能く變じたり、社稷亡ひ俸祿は奪る、や、端なく彼の胸中に燃ゆる蓄積力の變動を呼び起し、風雲雷電、龍驤虎變、心腹射生、大石良雄の名、少、胸中に燃ゆる蓄積力の變動を呼び起し、横發揮す、描寫精妙、夢遺烟射、人生の粹美を扶す、少年諸君一度之を讀まば、大石良雄と其交を通し、其事業終りたる原動力を感得するや感せり矣。

一九三









71  
157

084783-000-7

71-157

独逸文壇六大家列伝

巖谷 小波 (澁山人)

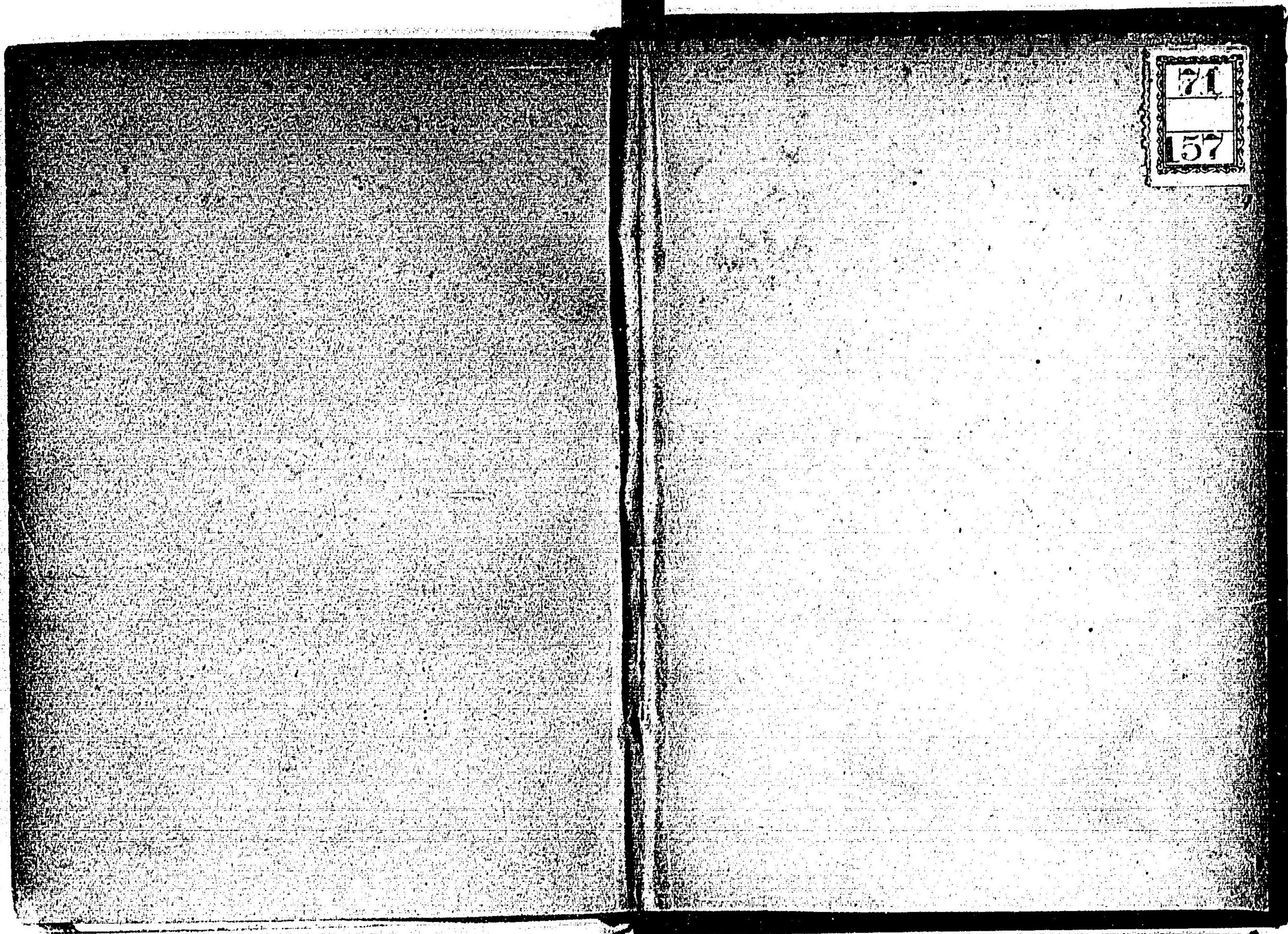
霧山人 編

M26

DBA-0128







71
57